

茶凍霜害被害への市の対策はあまりにも不十分

5月11日市議会全員協議会

議題は①市農業振興ビジョンについて、②市工業振興計画について、③茶の凍霜害の状況について、④袋井市民病院における平成21年度以降の収支予測について、の4つでした。

調査結果によれば市内の茶園727haのうち8割を超えた茶園で3月30日早朝発生した凍霜害を受けたとのこと。そのため茶農家は生産量の大幅減少、販売価格の低下により大変な減収となっています。茶農家からは、融資制度の創設や利子補給、肥料代への助成、JA等への支払い猶予、茶樹の中刈更新への助成等の要望が出されておりました。しかし袋井市は、農家への直接支援は問題がある、他の作目との均衡などの理由をあげ、これといった対策を出していません。

今回出された対策もJA遠州中央が実施する新たな融資制度に対し、JAと市が折半して利子補給を実施するというもので、その額はわずか200万円余との見込みとのこと。今回の被害で一茶の生産量は7割程度と見込まれ、茶農家の収益は例年の半分になるとの厳しい予測もされています。ここ数年間の茶価の下落で茶農家の経営は厳しいものがあり、加えて今回の大打撃です。袋井市の基幹作目である茶の生産基盤を維持していくためにも有効な対策の追加求めたいと思います。

5月9日日本共産党大演説会

東静岡のグランシップで日本共産党の大演説会が開かれ、袋井からも貸し切りバスで参加しました。行きは行程では、私から党演説会の前座として袋井市政の報告をさせていただきました。袋井市の今年度予算は税収が落ち込み、投資的経費を15%減に抑えていること、主な実施事業や新病院の建設計画の進行状況、現市民病院の後利用計画などをお話しました。

党の演説会では市田書記長の落ち着いた語りでわかりやすく、でありながら力強くまたユーモアを交え

てのお話で1時間のお話が大変短く感じられました。また話し方は大変勉強になりました。また参議院の比例候補のかわえ明美さんの話も人の感情を揺さぶるような上手で誠実な語りに関心いたしました。参議院選挙まで50日、今年もまた忙しい夏となります。



決意表明をする渡辺浩美静岡選挙区予定候補

市議会議員在職10年表彰

東海市議会議長会から「10年以上市議会議員の職にある者」として表彰されました。11日議長室で伝達式が行われ、表彰状の贈呈をうけました。

長いようで短い10年でしたが、これからも市民の負託にこたえるために頑張ってまいります。



高橋よしひろの議会活動通信

2010年5月13日号

袋井市大谷245 TEL・FAX (48) 6100

E-mail: wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ「美博の東奔西走」更新中!